

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最大3細胞/mL、ケラチウム属が最大1細胞/mL、ディクチオカ属が最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が藻津で0.24細胞/mL、大島中央で0.21細胞/mL、小筑紫中央で0.16細胞/mL、栄喜奥で0.01細胞/mL、青瀬山で0.03細胞/mL、ヒロウラで0.02細胞/mL、コクロディニウム・ポリクリコイデスが小筑紫中央で0.02細胞/mL確認されました。

今後、養殖魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	ディクチオカ	ケラチウム	コクロディニウム・
	(m)	(℃)		(mg/L)	属	属	属	ポリクリコイデス
A 藻津 (7.8m/35.3m) 【09:55】	0	25.7	32.2	6.1	0	0	0	0
	★ 5	26.6	33.8	6.2	3	0	0	0
	10	26.7	33.9	5.5	0	0	0	0
	15	26.7	33.9	5.4	-	-	-	-
	20	26.6	34.0	5.3	-	-	-	-
B 宇須々木 (9.3m/24.9m) 【09:22】	0	25.0	31.7	6.5	0	0	0	0
	★ 5	26.1	33.6	6.2	0	0	0	0
	10	26.6	33.8	5.6	0	0	0	0
	15	26.6	33.9	5.2	-	-	-	-
	20	26.5	33.9	5.1	-	-	-	-
C 大島中央 (10.1m/31.4m) 【10:03】	0	25.7	32.4	5.5	0	0	0	0
	★ 5	26.7	33.9	5.4	0	0	0	0
	10	26.7	33.9	5.6	0	0	0	0
	15	26.5	33.9	5.3	-	-	-	-
	20	26.6	34.0	5.5	-	-	-	-
D 小筑紫中央 (8.9m/47.3m) 【10:12】	0	26.1	32.9	6.2	0	0	0	0
	★ 5	26.5	33.8	5.7	0	0	0	0
	10	26.5	33.9	5.7	0	0	0	0
	15	26.6	34.0	5.6	-	-	-	-
	20	26.6	34.0	5.9	-	-	-	-
E 真珠 (8.7m/30.7m) 【09:09】	0	25.4	31.4	6.4	0	0	0	0
	★ 5	26.9	33.9	6.0	0	0	0	0
	10	26.8	33.9	5.7	0	0	0	0
	15	26.7	33.9	5.4	-	-	-	-
	20	26.4	34.0	5.1	-	-	-	-
F シラハエ (7.5m/36.8m) 【10:37】	0	26.1	31.9	6.4	0	0	0	0
	★ 5	26.7	33.9	6.1	0	0	0	0
	10	26.6	33.9	5.9	0	0	0	0
	15	26.6	34.0	5.8	-	-	-	-
	20	26.1	34.1	5.7	-	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	クロロディニウム・ ポリクリコイデス
G 立石 (7.5m/22.6m) 【10:45】	★ 0	26.3	33.2	6.6	0	0	0	0
	5	26.8	34.0	5.9	0	1	0	0
	10	26.6	33.9	5.8	0	0	0	0
	15	26.5	34.0	5.8	-	-	-	-
	20	26.5	34.0	5.7	-	-	-	-
H 一切田 (5.6m/21.1m) 【11:09】	0	26.2	32.5	6.5	0	0	0	0
	★ 5	26.8	33.9	6.1	0	0	0	0
	10	26.7	34.0	5.7	0	0	0	0
	15	26.7	34.0	5.3	-	-	-	-
	20	26.5	33.9	5.3	-	-	-	-
I 栄喜奥 (5.5m/11.8m) 【10:54】	0	26.1	32.1	6.3	0	0	0	0
	★ 5	26.9	33.9	6.0	0	0	0	0
	10	26.8	34.0	5.3	0	0	0	0
J ヒロウラ (5.9m/24.5m) 【11:23】	0	25.3	30.6	6.4	0	0	0	0
	★ 5	26.9	33.9	5.3	0	0	0	0
	10	26.7	33.9	5.2	0	0	0	0
	15	26.6	34.0	5.2	-	-	-	-
	20	26.3	34.0	5.2	-	-	-	-
K 青瀬山 (5.1m/15.3m) 【11:02】	0	26.5	32.8	6.1	0	0	1	0
	★ 5	26.9	34.0	6.2	0	0	0	0
	10	26.8	34.0	5.6	0	0	0	0
	15	26.6	34.0	5.3	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

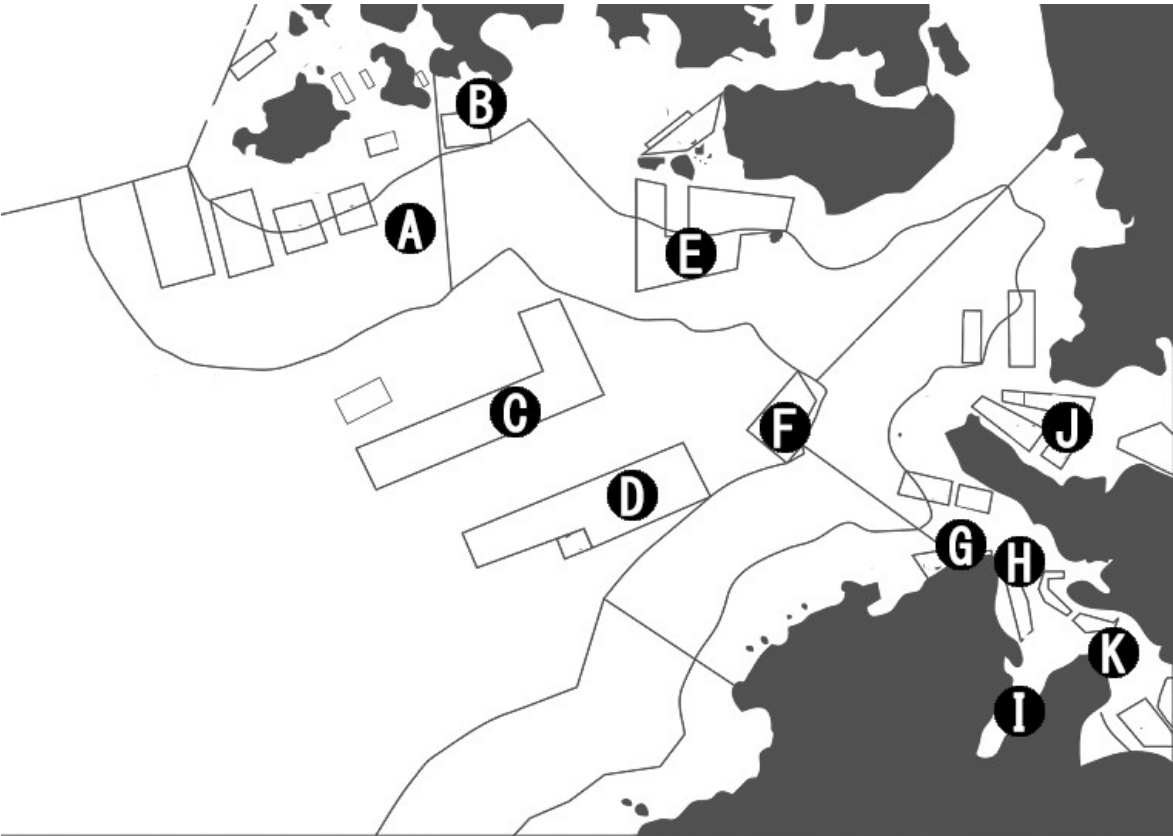
プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
ディクチオカ属	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	—
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 藻津

B: 宇須々木

C: 大島中央

D: 小筑紫中央
- E: 真珠

F: シラハエ

G: 立石

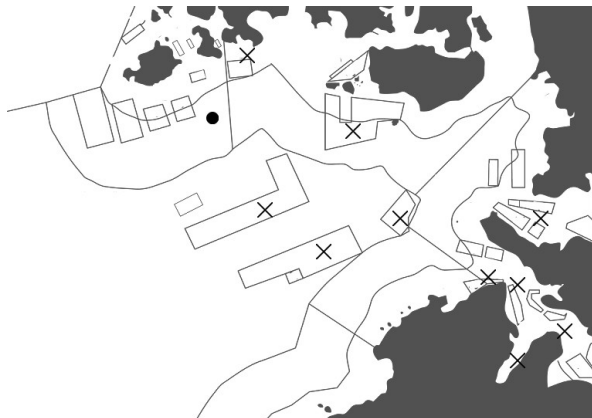
H: 一切田
- I: 栄喜奥

J: ヒロウラ

K: 青瀬山

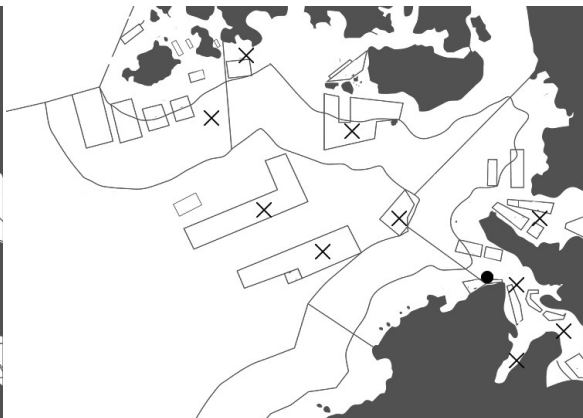
シャットネラ属

最大細胞密度



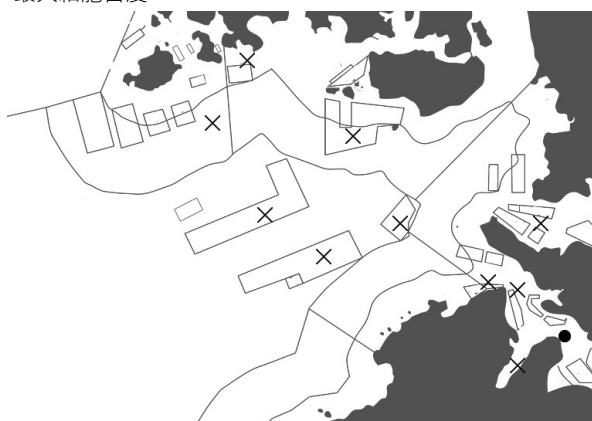
ディクチオカ属

最大細胞密度



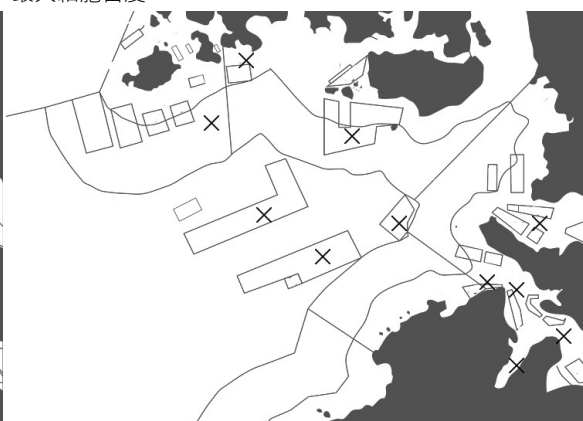
ケラチウム属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0

×

1~9

●

10

○

100

○

1,000

○

10,000

○

100,000

○

300,000

○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

